

## 株式会社 青山財産ネットワークス

### オーナー経営者の「財・体・心」を涵養する総合コンサルティング。

オーナー経営者を中心とする顧客に対し、財産の承継・運用・管理コンサルティングを提供する青山財産ネットワークス。財産の「貯める」「使う」「継ぐ」を包括的にサポートする独自のメソッドを磨き上げながら、時代を画する事業、ニューリーダーの登場に思いをはせる、同社蓮見正純代表の描く未来像とは――。



株式会社 青山財産ネットワークス 代表取締役社長  
公認会計士 / 税理士

### 蓮見 正純

Masazumi Hasumi

1983年、青山監査法人入所。監査実務、株式公開業務、事業承継対策に従事。1991年退所後、山田&パートナーズ会計事務所、三優監査法人を経て1996年にプロジェクトを設立。2008年船井財産コンサルタンツ（現：青山財産ネットワークス）とプロジェクトホールディングスを経営統合。2016年事業承継ナビゲーター設立。2020年青山フィナンシャルサービス設立。2021年ファミリーオフィスサービスを展開する青山ファミリーオフィスサービスを設立。

### 新時代を創る 経営者と、共に歩む

長年にわたり、経営者に向け

た財産の承継・運用・管理のコンサルティングに携わる蓮見代表は、現代日本の状況を、危機にありながら大きな変革のフェーズとみる。「日本経済は、バブル崩壊後から30年ほど右肩下がり。昭和の繁栄を謳歌した事業、働き方、考え方が時代遅れとなった。しかし、新たな価値観や意識の高まり、技術発展などの条件が揃い、新しいものが生れて来る兆しを感じます。」

その中で蓮見代表は自身の役割として、起業や事業承継などを経て、新たに経営に参画する若手中小・ベンチャー経営者に対して、個人の財産と、会社の財務への意識を高めることを挙げる。つまり、オーナー経営者個人の財産形成と、会社の健全な財務体質に対する助言だ。そのために経営者個人の資産を増やし、保全していく方法と、財務体質の健全化の方策を提供する。

「資本と経営が分離していない中小オーナー企業は、経営者個人が会社資金の最後の出し手となります。だからこそ、経営者自身が一定の資産・資金をもたなければなりません。それは、まさか“の時に会社を助けることができるのは、経営

者個人しかいないからです。また、正しい経営判断をするためには、資金的な余裕が欠かせません。」

一方、会社の財務体質の健全化については、「何より潰れない会社にするのが大事です。潰れてしまつては何もできません。先が見え難い今の時代だからこそ、健全な財務体質の実現が大切。特に財務体質が健全というのはどういう状態なのかを、しっかりと意識して学んでいただきたいと思っています。」

蓮見代表が、次世代リーダーの条件として挙げるのは「財・体・心」が整っていること。すなわち、経済的に豊かであり、身体的な健康への意識が高く、精神的にも高潔で、自分自身の成長を限りなく求め、自分の周りの人の成長や幸せと社会に貢献できる人物。それは蓮見代表自身の理想でもある。

「社会の変化によって、新しい社会課題が数多く生じています。これらの課題を解決できるビジネスを多くの若い方たちが起業し、経営者となって解決していただきたい。起こしたビジネスに邁進する多くの若い経営者たちを、個人の財産面、会社の財務面から支援していくことが私の役割です。財・体・心を備えた意欲と能力にあふれる経営者と共に、未来を見据えて歩み続けたいです。」